

平成28年度
(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

事業報告書

(施設 伊勢原愛児園)

社会福祉法人 誠和福社会

平成28年度事業報告書

社会福祉法人 誠和福祉会
保育所 伊勢原愛児園

1. 概要

事業計画の保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえて計画した事業を推進し、子どもたちが健康、安全で、情緒の安定した生活が出来る環境を整え、健全な心と体の発達を図る保育の充実に努め、また、各行事も概ね予定通り行うことが出来た。

子育て支援については、一時預かり事業や地域育児センター事業等、地域の保育ニーズにも積極的に取り組み、また、保護者支援として、保護者アンケートの実施や個々面談等積極的に行い改善に取り組んだ。

また、地域交流としては、近隣の小学校等とも連携を図り、子どもや職員の交流を行った。

2. 保育園の運営

(1) 児童の処遇

■定員 90名

■開所時間 7:00~19:00 (有料延長保育時間18:00~19:00)

■保育時間 8:30~16:30

■年間入所児童数

年度の当初より定員を上回る入所児童数であった。内容的には、5歳児が少なく、全体的な延べ数は例年よりも少なかった。

今後、市内の保育を必要とする児童の数は増えていくと予想されるため、さらに定員を超えた入所を受け入れていく必要がある。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	5	5	6	7	8	8	8	10	10	10	10	11	98
1歳児	16	16	15	16	16	16	16	16	16	16	16	17	192
2歳児	20	20	20	19	20	20	20	20	20	20	20	20	239
3歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	19	18	18	18	233
4歳児	22	22	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	272
5歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
合計	96	96	96	97	100	100	100	102	101	100	100	102	1190

(2) 保育内容

保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえた各年齢ごとの年間指導計画、月案、週案、日案を立て、その計画に基づいて保育を実施した。また、実施後は評価及び振り返りを行い、次の目標に生かして保育を行った。

■運動遊びの推進

年少児以上には毎週、運動遊びの日を設け、運動機能の向上を目指した活動をした。なわとびや長距離散歩、マラソンなどを通して、体力向上をねらい実施した。

■食育の推進

おやつ作りやいもほり、みかん狩りなど、食に関する行事を通し、食べ物のありがたさや料理を作ること、また、作ってくれる人に感謝する気持ちを持つなど、食に関する関心を高めた。

また、食育指導では、栄養士や主任保育士により自分の体に必要な食品の種類や働きを教え、食事のバランスを考える事や食物やそれを作ってくれる人たちに感謝できる心を育てた。

また、だんご作りやおやつ作りなどを通し、直接食材に触れる事により感触などを楽しんだり、また、衛生面の学びも出来た。

■環境活動

年長児は毎日ゴミ当番活動をし、各クラスや保育園内のゴミを収集する活動をした。

■縦割り保育（3～5歳児の縦割り保育）

異年齢の交流により、年下の子に対する思いやりや、年上の子に対する憧れなど、年齢差による社会性を育んだ。また、各行事に向けた準備等にも異年齢グループで積極的に取り組んだ。

■保護者との連絡・連携

- ①0～2歳児では連絡ノートにより毎日の保育状況や健康状態を伝え、家庭との連絡を密に行った。
3歳以上児では連絡帳を使用し、連絡がある場合に活用した。
また、各クラスのボードに毎日の活動内容や保護者への連絡等を掲示し伝達した。
- ②毎月、園だより、各クラスだよりや給食の献立を発行し配布した。
- ③送迎時には、その日の出来事や健康状態等を口頭にて伝えた。
- ④1～2月に各クラス3日間の保育参観や個々面談を行い、家庭と園との連携を深めた。
- ⑤玄関ホールには、年間の行事計画表や感染症等の注意、苦情解決の仕組み・第三者委員等の掲示をした。
- ⑥ホームページを都度更新し、保育活動等の報告を行った。
- ⑦「保護者の一日保育体験」を通じ、保育内容の共有と親業の推進に努めた。
- ⑧年末の大掃除や、もちつきなど、保護者の協力を頂き行った。

（3）平成28年度 主な年間行事報告

ほぼ年間行事計画通り行うことが出来た。（別紙：年間行事報告書の通り）
大きなケガがなく行えたことが何よりだった。
さらに、子どもたちが主体的に活動を行えるように援助していきたい。

（4）特別保育事業

■一時預かり保育事業状況（利用延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
53	46	53	42	54	55	71	75	61	62	70	78	720

■延長保育事業状況（利用延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
150	100	169	160	131	130	136	130	111	130	123	136	1606

（5）地域育児センター事業

例年と変わらない内容であった。まだまだ利用者数は少ないので、さらに周知していく必要がある。

事業名	内容	延べ人数
通常育児相談	電話、面接等により、保護者の抱える育児、子育てに関する問題に対し助言等を行った。	80名
在宅育児支援事業	未就園児の乳幼児を持つ保護者に対し、園舎、園庭を開放し、保育園の行事やイベント等への参加を通じ交流を行った。 ①ふれあいサロン ②園庭解放 週3日（火・木・土） 10:00~12:00,14:30~16:30	① 39名 ② 約 600名

(6) 職員の状況

■平成28年度初（平成28年4月1日現在）

区分	園長	副園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	医師	合計
正規	1	1	1	10	2				15
常勤的パート				4					4
短時間パート				7		3	1		11
嘱託								2	2
合計	1	1	1	21	2	3	1	2	32

■平成28年度末（平成29年3月1日現在）

区分	園長	副園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	医師	合計
正規	1	1	1	10	2				15
常勤的パート				4					4
短時間パート				8		3	1		12
嘱託								2	2
合計	1	1	1	22	2	3	1	2	33

*その他、育休中・・・1名

職員の入れ替わりが少なく安定した職員配置が出来た。

(7) 職員会議等の状況

計画的に行事などを行うためにも適宜話し合いを持ちながら進めた。

午睡中の45分間を使い各会議を行った。時間が短いことで集中して行うことが出来た。

ただ、参加していない職員への周知が徹底できていない部分もあった。

会議名	回数	内容
朝礼	毎朝	毎朝の9時30分時点での報告、連絡及び職員体制等の確認
連絡会	2回/月	子どもの様子やクラスの状況等を報告、検討。
給食会議	1回/月	給食の実施について課題等の話し合い。アレルギー対応など。
職員会議	1回/月	行事の計画・反省等。
保育計画委員会	1回/月	各クラス1名の代表により毎月の保育計画を立てる。
研修企画委員会	1回/月	勉強会の企画運営、外部研修の計画

(8) 職員研修

■園内研修

◎毎月2回の連絡会で、子どもたちの様子やクラスの状態等を話し合い、全職員で情報の共有を行った。

◎勉強会として、毎月1回（2日に分けて）昼休みの45分間、テーマを決めて全職員が参加し保育の質の向上を目的に充実した勉強会が出来た。

さらに若い職員や経験の少ない職員からの発言や意見などが出てくる雰囲気にしていく必要がある。

勉強会内容
研修報告等、箸の持ち方使い方、行事の見直しについて、マニュアルの読み合わせ等

■外部研修：参加状況

実施月	内容	主催	参加者
4月	神奈川県保育会事業大会	神奈川県保育会	7名
6月	保育制度セミナー	全国保育協議会	1名
6月	保育者のための話し言葉セミナー	日本保育協会神奈川県支部	1名
6月	保育研究セミナー	日本保育協会神奈川県支部	1名
7月	改正社会福祉法セミナー	三菱住友海上	1名
7月	改正社会福祉法セミナー	日本保育協会	1名
7月	中堅保育士研修	保育センター	1名
7月	関東ブロック研究大会	神奈川県保育会	3名
9月	保育の考え方研修	神奈川県保育会	1名
9月	中堅保育士研修	保育センター	1名
9月	保育研究セミナー	日本保育協会神奈川県支部	1名
10月	人材マネジメント講座	全国社会福祉法人経営者協議会	1名
10月	普通救命研修会	伊勢原市保育協議会	2名
11月	母子保健指導者研修	日本栄養士会	1名
11月	監事研修	全国社会福祉法人経営者協議会	1名
11月	保育研究セミナー	日本保育協会神奈川県支部	1名
12月	社会福祉法人制度改革セミナー	神奈川県社会福祉協議会	1名
1月	食育研修	神奈川県保育会	1名
2月	保育研究セミナー	日本保育協会神奈川県支部	1名
2月	調理のコツ	秦野保健所	1名
2月	保育の姿と保育指針を学ぶ	神奈川県保育会	1名

*その他、伊勢原市保育協議会研修会、神奈川県保育士会、神奈川県保育会等の研修会に参加した。

(9) 実習生、ボランティア、職場体験等受け入れ状況

保育士不足の中、将来保育現場を担う実習生をさらに積極的に受け入れて行く必要がある。

保育実習生	看護実習生	職場体験	夏期保育体験	保育ボランティア	ふれあい体験
6名	9名	8名	9名	3名	2名

3. 保健衛生

■園児

毎月	身体測定（身長・体重） 毎月、月始めに実施し、自分の体の成長に気づき、喜びを共有出来た。
6月	4, 5歳児尿検査実施（特に問題なし）
5月、10月	内科検診実施 園医に内科検診をしていただく中で、自分の体に関心を持ち、健康の大切さを理解して行った。
5月、11月	歯科検診実施 虫歯にならないための歯みがきの大切さを指導し、また、園医に歯科検診をしていただく中で歯磨きやうがいの大切さを知り、歯を大切にすることを指導した。
入園時	入園児健康診断の実施（ただし、入園後2ヶ月以内に園実施の内科検診がある場合は、それを持って入園児健康診断とする）

■職員

毎月	毎月2回 全職員対象で細菌検査を実施
随時	年1回の健康診断実施
随時	インフルエンザ等の予防接種の推奨（10月）

■施設

5月、9月	園内消毒（害虫駆除）の実施 食品衛生法の下、園舎内の害虫駆除を業者にて行った。また、園庭の樹木消毒も行い、衛生管理に取り組んだ。
12月	貯水タンクの清掃及び水質検査の実施
4月、9月	秦野保健所による衛生検査の実施（特に指摘事項はなかった）

4. 安全管理

呼吸チェック	0・1歳児は、午睡中15分間隔で呼吸チェックしSIDSの防止に努めた その他のクラスは午睡状態を適宜観察した
アレルギーチェック	食物アレルギーのある児童については、次月の給食献立を保護者にチェックして頂き、アレルギー物質の除去、または代替え食にて対応した。 また、給食提供時には、調理員、クラス担任のチェックを施し再確認した
安全チェック	月に1度、「安全チェックリスト」にて園舎内外の安全面を確認した
避難訓練 （毎月）	毎月火災や地震などを想定し、避難訓練計画に乗っ取り実施した いろいろな災害を想定し、自分の身を守る方法を教えると共に、防災の意義を持たせ、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。
防犯訓練 5月 9月 1月	年に3回不審者回避等の訓練を行った 不審者に遭遇した場合の対応方法（子ども向け）をDVDを見ながら学んだ。また、正面玄関や園庭からの不審者進入に対し、児童の安全を第一義とした防犯避難訓練を実施し、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。
交通安全指導 （各月実施）	各月で交通ルール等の指導をした 散歩時に信号機の見方やルールを教えたり、各クラスで紙芝居や絵本を使って交通安全の大切さを学んだ。
消防設備点検	5月、11月に、総合警備保障に委託して実施した

5. 地域交流

大田小学校の運動会（かけっこ）に参加したり、低学年とのお店屋さんごっこに招待を頂き楽しんだ。また、年度の終盤には、大田小学校に「ようこそねんちょうさん」と題し、近隣の幼稚園児と共に招待され、一年生と一緒に校内を案内してもらったり、教室や校庭で遊んだりした。

近隣の老人ホーム（バーデンライフ）に、運動会の招待状を持って行き、運動会当日にも数名の方がみえ楽しんで下さった。

また、伊勢原市教育センター主催の「地域教育機関等連絡協議会」（中学校学区4グループでの協議）が年4回ほど行われ、地域との連携について話し合っている。

6. 苦情解決等

今年度は小さな要望等はあるが、大きな苦情となるようなものはなかった。保育内容や職員の態度、行事等に関する保護者アンケートを実施した（2月）。回収率50%であった。内容的には要望や指摘事項もあったが全体的に満足いただけている結果であった。

7. 施設整備等

給食設備機器（ガスオーブン）が何度か故障したので、新規にスチームコンベクションに入れ替えた。その他にも、長年使っている設備があるため、計画的に交換していきたい。